

SKY コーナー

「2022年度 SKY運動成果発表大会 &安全大会 in 愛媛」開催(四国支部) “安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう”

情報通信エンジニアリング協会 四国支部

はじめに

「SKY運動成果発表大会」については、毎年四国4県で持ち回り開催としておりましたが、2021年は、新型コロナウイルスの影響で中止としたため、2年ぶりとなる2022年12月5日に、四国通建(株) (今治市)を HOST 会場に、四国4県を Web 会議システムでつなぎ、リモート開催しました (写真1)。



写真1 リモート開催模様

また「安全大会」は、3年ぶりに集合形式で「実演」をメインに2022年12月8日、愛媛県の東温市総合公園においてNTT西日本四国グループ様との共催による「2022四国安全大会in愛媛」が開催されました。

「2022年度SKY運動 成果発表大会」

開会挨拶

開催にあたり、情報通信エンジニアリング協会 四国支部 高木支部長 (写真2) より、「SKY運動成果発表大会を2年ぶりに開催できたことをうれしく思っている。



写真2 ITEA四国支部
高木支部長 開会挨拶

改善活動は、継続的に取り組んでいくことが大切だと思っている。本大会は、我々通建会社が、発注者のNTT西日本様、さらにはその先のお客様への「安心・安全・信頼」のサービス提供に向け取り組んだ事例を共有する場であるが、この場をきっかけに、今回の発表施策以外のさまざまな改善についても、より一層の取り組み強化を期待したい。」とのご挨拶がありました。

来賓ご挨拶

引き続き、(株)NTTフィールドテクノ 四国支店 愛媛設備部 エリアマネジメント部門 三好部門長様 (写真3) より、「いつも社会の重要なインフラである通信を守り、台風等の自然災害に対しても広域支援に参加していただいた皆様には大変感謝している。

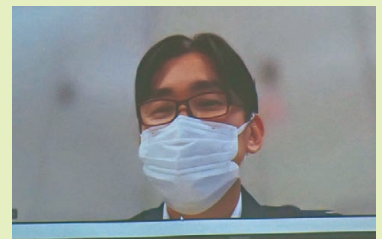


写真3 NTTフィールドテクノ
三好部門長様来賓ご挨拶

さて、SKY運動成果発表大会が2年ぶりに開催されるということで、リモート開催とはいえ無事に開催されたことを喜ばしく思っている。

また、日々の業務において不便さ、危険さに気づいていても、SKY運動のような活動が盛んでないと埋もれていくので、このような場でさらなる安全性・効率性を追求し、業務に反映されていくことを私たちは非常に心強く感じている。

作業人身事故の発生状況は、西日本全体では2021年度の15件に対し

て、今年度は第3四半期半ばにしてすでに同程度の事故が発生している状況である。危機的な状況ではありませんが、四国の通建会社様では事故ゼロを維持していただいている。これも日々のSKY運動の成果ではないかと思う。本大会の内容も踏まえ、ますます安全意識を高めていただき引き続き0件維持をよろしくお願ひしたい。」とのご挨拶をいただきました。

SKY運動成果発表大会

発表大会では、各会員会社から選抜された代表4サークルによるテーマ発表が行われました(表1)。

最初に四国通建(株)のテーマ発表『ヒューズタッチの改良』は、ヒューズタッチ・テスト・中継端子を一体化し、人員の削減、安全な確認作業ができる取組みについて紹介されました。

日本コムシス(株)のテーマ発表『目視用管路穴開け機『ベッカー君』の開発』は、緊急時に時間をかけず、どんな条件下でも管路に簡単にかつ安全に穴を開けることのできる穴開け機を開発したという内容でした。

四国通建(株)のテーマ発表『引上管路・通過試験機「Pass75」の考案』は、ウエス作成の時間削減のために、市販のスポンジとNTT規格のマンドレルを用いて、一定の品質で簡単に作成できる取組みについて紹介されました。

最後に、エクシオグループ(株)のテーマ発表『水中どぼーんによるガス漏洩孔探索』は、地下ケーブルのガス漏洩孔探索の実施にあたり、時間的制約や溜水の排水作業等、探索作業以外の準備に時間がかかるため、水中ドローンを活用したという内容でした。

いずれの発表も創意工夫が凝らさ

表1 発表テーマ一覧

No	発表テーマ(発表順)	発表会社名	サークル名
1	ヒューズタッチの改良	四国通建株式会社	高知エレクトロニックパワー
2	目視用管路穴開け機『ベッカー君』の開発	日本コムシス株式会社	FAIT: ファイト
3	引上管路通過試験機「Pass75」の考案	四国通建株式会社	良さ来い
4	水中どぼーんによるガス漏洩孔探索	エクシオグループ株式会社	EXEO PRIDE

れた素晴らしい内容で、他社の取組みを知ることで新しい発見もありました。

また、これらの成果を次の改善に活かすヒントとして、さらなる活性化につなげていくことが期待されます。

全体講評

発表終了後、日本コムシス(株)四国支店 藤岡支店長(写真4)による全体講評が行われ、「今回の発表は、創造・改善・躍進の頭文字をとった『SKY運動』そのものの内容だったと思う。今後、通信建設会社は保全業務を中心とした仕事が変わっていくに伴い、保全業務の中から改善ネタを見つける必要がある。



『SKY運動』を通じて、工事や保守の作業に、さらに、効率的に取り組んでいく必要があるということをお話ししたメンバーで改めて確認

できた。」との講評がありました。

記念品授与・優良安全工事表彰

全体講評終了後、各会場においてSKY発表4サークルの代表者に「記念品」が授与されました(写真5)。



「優良安全工事」表彰は、チームでしっかりと推進していくという観点から優良で安全な工事に携わった設計者、施工者、そして責任者の関係者一同をチームとして表彰。選ばれた4工事の代表者に「表彰状」ならびに「記念品」が授与されました(写真6~8)。





写真7 表彰者集合写真
エクシオグループ(株) 香川会場



写真8 表彰者集合写真
日本コムシス(株) 徳島会場

SKYスローガン唱和

表彰式終了後、エクシオグループ(株) 四国支店 伊藤太郎さんの発声により四国支部のSKYスローガン「安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう」の唱和が行われ閉会しました(写真9)。



写真9 SKYスローガン唱和

「2022四国安全大会 in 愛媛」

大会概要

本大会は、「過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません！」のスローガンのもと、NTTフィー

ルドテクノ様とITEA四国支部が合同で開催するイベントで、今回が20回目となります。当日はNTTグループ各社様とITEA四国支部会員会社から345名が参加しました。

開会式

開催に先立ち、安全意識の向上に向けた「0(ゼロ)災唱和」が参加者全員で行われました(写真10)。



写真10 0(ゼロ)災唱和

開会挨拶

開催にあたり、大会主催者と協賛各社を代表して西日本電信電話株式会社 四国支店 立石支店長様より開会のご挨拶をいただきました(写真11)。



写真11 立石支店長様ご挨拶

「今年も大変多くの自然災害に見舞われた年でありました。特に台風11号、14号については、西日本エリア各地で通信ネットワークに関して多大な影響と被害を受けました。広域支援に行っていただいた皆さん、その間職場を支えていただいた

皆さん、本当にありがとうございました。残念ながら今年も既に13件の作業人身事故が発生しています。9月には四国エリアで天井から落下する事故、静岡では交通誘導員の方にトラックが飛び込む痛ましい事故もございました。ぜひとも安全に対する意識、感度を高めていただき、それぞれの職場に持ち帰って水平展開をしていただきたいと思います。皆さんと皆さんのかけがえのない仲間が事故を起こさない、事故にあわないということを祈念いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。」

実演

実演①バケット車誘導(後退時の死角)

車両後退時に交通誘導員を巻き込んだ事象を再現する(写真12)。



写真12 バケット車誘導

実演②バケットからの墜落(張力反動)

ケーブル敷設時に車両が進入したことで作業者が墜落した事象を再現する(写真13)。



写真13 バケットからの墜落

実演③バケット車の逸走（坂道駐車）

7度の坂道で前上がり駐車時にバケット車が逸走した事象を再現する（写真14）。



写真14 バケット車の逸走

3度の坂道でバケット車後部につながれたロープを6名で牽引した状態でバケット車を逸走させ、重圧を体感する（写真15）。



写真15 バケット車の重圧体験

実演④バケット車の傾き（地盤養生）

バケット操作中に地盤陥没によりバケットが大きく揺れる事象を再現する（写真16）。



写真16 バケット車の傾き

実演⑤衝撃に強いコンクリートポール

被膜塗装したポールと従来のポールの双方に250kgの錘を同時に落下

させてコンクリートの破損状況を比較する（写真17）。



写真17 衝撃に強いCP

をハンマーで打撃し、破損状況を比較する（写真20）。



写真20 遠心供試体の打撃比較体験

体験

体験①VRによる危険体感

VR技術を活用し、現場作業時の危険を体感し、安全意識の向上を図る（写真18）。



写真18 VRによる危険体感

体験②フルハーネス吊り上げ体感

墜落制止用器具を着用し、墜落時の人体への負担と負担軽減方法を体感する（写真19）。



写真19 フルハーネス吊り上げ体感

体験③遠心供試体の打撃比較体験

『被膜塗装を施した供試体』と『被膜塗装を施していない供試体』

実物展示

- バケット車の最新機能（写真21）
- ・バケット車の安全フック確認ツール
- ・インターロックシステム



写真21 バケット車の最新機能

閉会式

閉会式では、ITEA四国支部を代表して四国通建株式会社 常務取締役 越智NTT事業本部長より閉会の挨拶がありました（写真22）。



写真22 越智本部長閉会挨拶

「3年ぶりということで初めて見させていただきました。かなり迫力があり、実際に見て感じる事の大切さを改めて認識しました。この3年の間にNWカメラ、スマホなど安全や信頼をサポートしてくれるサービスが進化しました。それらを使って安全を確保するためのチャレンジをぜひとも続けていっていただきたい。一番大切なことは安全に対する意識の高さだと思います。四国の中から事故を絶対に発生させない取組みを全員一丸で取り組んでいきましょう。」

最後に来年度主催（高知県）予定のNTT西日本グループ代表社員と、ITEA四国支部代表社員の発声による「統一安全スローガン唱和」を行い、無事閉会しました（写真23）。



写真23 統一安全スローガン唱和

あしがき

参加された皆さまが、各工事現場へ本日学んだ安全の心得を持ち帰り、各現場で安全活動のリーダーとしてご活躍されることを期待しております。

基本動作の徹底よし！今日も一日ご安全に！